

「第19回 春のじゅんゆう文芸賞」入賞作品発表!

循誘校区の地域活動「春のじゅんゆう文芸賞」は今年度19回目を迎え、活動の更なる広がりを目指しています。循誘校区には歴史資源も多く、表彰式会場の八坂神社には江戸時代に成就院の僧が歌を詠んだという言い伝えも残っています。私たちのこの取り組みが校区の、また佐賀の文化的気風の醸成につながれば幸いです。春風に揺れる短冊は「じゅんゆう」のささやかなおもてなしです。どうぞごゆっくりご覧ください。
 循誘まちづくり協議会 会長 平川 哲男

俳句

- 【小学生・中学生の部】
- 天賞 スタートだ 胸の高なり 桜道 於保 樹季
 - 地賞 ひな祭り 明日は私の 誕生日 山岸 陽奈
 - 入賞 さらさらと 桜のシャワー おでむかえ 土井 都羽
 - 入選 あたたかい 風がすずしい サツカーだ 川副 雄太
 - 入選 緑の葉 さくらと共に ゆれている 廣重 奈音
 - 入選 タンポポの花 ひらくとき 中学へ 川浪 勇悟
 - 入選 新学期 新しい日が はじまった 久保田 翔真
 - 入選 ひなまつり こどものほつぺた 桃みたい 久保田 唯菜
- 【一般(高校生以上)の部】
- 天賞 外に出て 肌を感じる 春の匂い 玉田 遥愛
 - 地賞 雛まつり 色鉛筆の ぬり絵かな 岡 文子
 - 入賞 ゆるやかな 雅楽のしらべ 春紡ぐ 森 洋美
 - 入選 花柄の マスクをつけて 雛祭 西久保 キク
 - 入選 淡雪や 織り継ぐ綾の 佐賀錦 光野 遊季
 - 入選 街なかの 川面やはらぎ 春そこに 小島 祥弘
 - 入選 スイートピーの 門出の言葉 束にして 杉谷 登茂子
 - 入選 木目込み雛 老の手習 始めけり 芹田 孝子

川柳

- 【小学生・中学生の部】
- 天賞 翔び立とう それぞれの空 どこまでも 高田 夢翔
 - 地賞 卒業と ともに始まる 新世界 溝田 彩乃
 - 入賞 いつまでも 心に残る 友の顔 中伊 彩葉
 - 入選 さくら咲き 春風ふいた 新学期 南里 彩心
 - 入選 想いこめ 旅立ちの日に 歌うたう 江口 亜美
 - 入選 別れても 出会いはきつと またあるさ 久米 陽愛
 - 入選 夢を追い それぞれの道 歩んでく 古賀 佳斗
 - 入選 うぐいすが きれいな笛で 春つげる 平野 ひなの
- 【一般(高校生以上)の部】
- 天賞 おばあちゃん 大事にするよ ランドセル 佐藤 美鈴
 - 地賞 成長を そつと見守る お雛様 井手 順子
 - 入賞 オミクロン 新ワクチンで 春が来る 高橋 正光
 - 入選 春うらら 万歩計まで 弾んでる 西島 順子
 - 入選 ぼつかりと 親亀子がめ 春日和 小島 祥弘
 - 入選 とびはねて 小魚の群れ 水ぬるむ 枝永 一馬
 - 入選 愛らしい 雛が待ってる 佐賀城下 中村 松代
 - 入選 久久の ひいなもマスク つけている 内田 直美

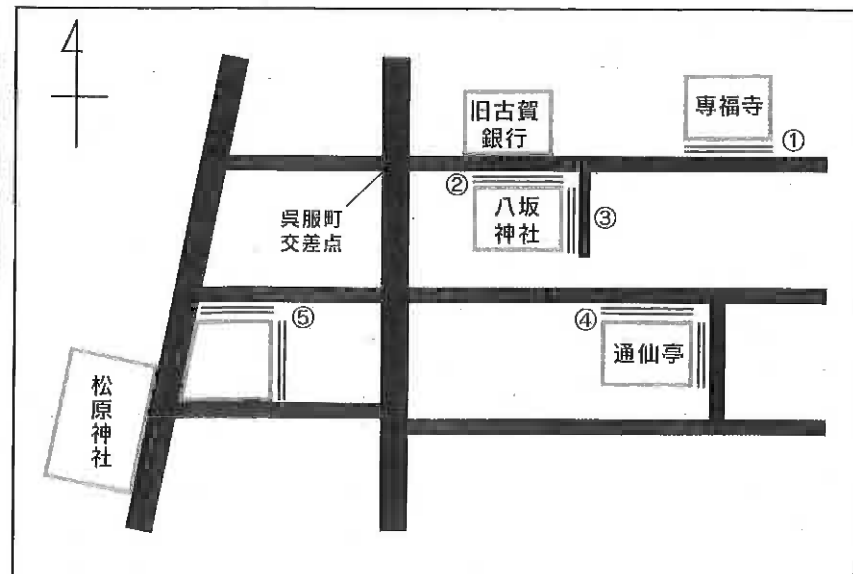
一行詩

- 【小学生・中学生の部】
- 天賞 ランドセル 「ありがとう」言う 別れの日 山口 瑞貴
 - 地賞 夢語る まぶしい君に 桜咲く 北村 幸樹
 - 入賞 入学式 制服に着られる 私たち ついに始まる 中学生生活 川崎 咲恵
 - 入選 体育館 ピアノの響き 友の声 井手 有紀
 - 入選 うぐいすの 声で目覚める 朝6時 寺野 真美
 - 入選 新学期 笑顔満開 花咲かす 橋本 侑弥
 - 入選 風にのり 春の花びら舞い落ちる もものじゅうたん ここに広がる 田中 咲妃
 - 入選 ひなまつり 毎年私の成長を 見守る家族 ありがとう 廣瀬 彩綾
- 【一般(高校生以上)の部】
- 天賞 入学式 まっ赤に染まる母の頬 気合が入る 私たちより 山田野 乃花
 - 地賞 次の世を背に ぴかぴかのランドセル 松永 一馬
 - 入賞 「行つてきます」 語気が強まる 新学期 山口 光緒
 - 入選 佐賀城下 集まれ集まれ 春の顔 内田 直美
 - 入選 園の中に こもつて三年 今年こそ 電動車椅子で おひなさまに 会いに行きたい 年ごと変わるひなの顔 東田 美雪
 - 入選 ひなまつり 成長する孫に感謝し 土筆さん 化粧仕上げは いつもの泥パックで 顔を上げ 政池 マキ子
 - 入選 土筆さん 化粧仕上げは いつもの泥パックで 顔を上げ 橋間 水音
 - 入選 ひさかたに うすい上着を はおりゆく 外の春風 少しこうかい

たくさんの方のご協力のもと、今年も文芸賞の表彰式が行われました
 [2/25(日) 八坂神社にて]



短冊の展示場所案内図



- ① 一般
- ② 一般
- ③ 循誘小学校
 勸興小学校
 巨勢小学校
 兵庫小学校
- ④ 城東中学校
- ⑤ 佐賀女子高校
 成穎中学校

展示期間2/11(土)~3/19(日)

選者の作品

【俳句】

雛まつり 樹齡二千の 樟の宮
 栗林 白霜(公益社団法人俳人協会評議員)

【川柳】

食べたのか 食べてないのか ポケ進む
 西村 正紘(元佐賀番傘川柳会会長)

【一行詩】

優秀な花粉センサー 春感す
 我が目と鼻の繊細なこと
 井原 竹始(佐賀市立循誘小学校校長)

